

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

日本語教員を目指す学生×海外の日本語学習者 オンラインで交流

武庫川女子大学文学部日本語日本文学科で、日本語教員をめざす学生たちが海外の日本語学習者とオンラインで交流しています。コロナ禍で外国人留学生が減少し、海外での実習が中止になる中、日本語学習者と接する機会を創出するのが目的です。これまでに、日本語を学ぶ各国外交官や公務員、協定校である韓国・韓南大学の学生と Web 交流会を開催。6月24日は香港 SFA 英文小学校 (St. Francis of Assisi's English Primary School) の5、6年生29人と Zoom で交流会を行いました。今後も日本語学習者とオンラインで交流する予定です。

武庫川女子大学の日本語日本文学科では日本語教員養成に力を入れており、所定の単位を修得すれば、日本語教員の資格を得ることができます。例年は、国際交流基金関西国際センターを通じて、日本語を学ぶ各国の外交官や公務員と対面で交流したり、夏に韓国の韓南大学日語学科で教育実習をしたりする機会がありましたが、2020年以降、すべて中止に。日本語学習者と対面で触れ合う機会が激減しました。このため、2021年5月から、日本語教育インターンシップや日本語教授法などの授業の一環として Web 交流会を実施。親交のある機関や協定校を通じて日本語学習者に参加を呼び掛け、毎回、多数の参加を得ています。

香港 SFA 英文小学校との Web 交流会には、武庫川女子大学から3、4年生と大学院生の24人が参加しました。同小学校では高学年になると第二外国語として日本語を学ぶ機会があります。コロナ禍以前は修学旅行で来日するたび、武庫川女子大学を訪れ、日本語教員を目指す学生たちと書道や茶道で交流していましたが今年は中止になっています。

Web 交流会で、子どもたちは日本語で一人ずつ自己紹介。学生が折り紙やじゃんけ

ん、切り絵など日本の文化を題材に遊びを企画し、グループに分かれて子どもたちと交流しました。

日本舞踊をテーマにしたグループでは、着物姿の学生が傘や鈴太鼓、扇子、刀などの小道具を示しながら、簡単な動きを英語を交えてレクチャー。優雅な所作に子どもたちは興味津々の様子で、画面に顔を近づけ、「もう一回」とリクエストする場面も。

日本語日本文学科4年の伊藤留奈さんは「動きだけで伝わるか不安でしたが、予想以上にスムーズにできました。踊りを通して子どもたちと一体感を得られ、うれしい」と話していました。

また、かぶとやてるてる坊主を作ったグループでは、動画を画面共有して作り方を見せるなど、学生の細やかな準備が光りました。小学生は「楽しかった」「皆さんに会いたいです」など英語と日本語で声を弾ませ、お礼として映画「千と千尋の神隠し」のテーマソングを広東語で合唱。多言語を自然に話す子どもたちの姿に学生たちは感心した様子でした。

武庫川女子大学文学部日本語日本文学科では、今後も日本語学習者とオンラインで交流する予定です。

この件についてのお問い合わせは

武庫川女子大学広報室 (TEL : 0798-45-3533) までお願いします

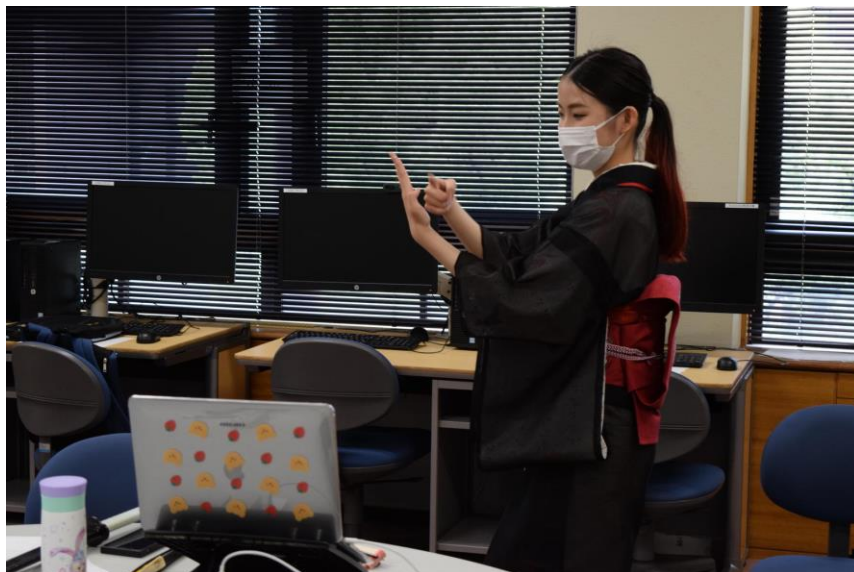
合唱で学生にお礼を伝える香港の小学生たち



グループに分かれて交流する児童と学生（右上は教員）



着物姿で日舞の動きを見せる学生



身振りを交えて画面の小学生に呼びかける学生たち



一人ひとり日本語で挨拶する小学生たち

